

# 第10回山形県少年健全育成柔道大会 実施要項

## 兼 第7回全国小学生学年別柔道大会県予選大会

1. 目的 わが国の将来を担う小学生の心身ともに健全な育成を目指し、児童相互の交流・親睦及び正しい柔道の普及・発展を期する。また、将来の日本柔道を背負う、ジュニア選手育成を目的とする。
2. 主催 山形県柔道連盟
3. 後援 山形県警察本部 社山形県防犯協会連合会 山形県教育委員会 山形県スポーツ少年団 財山形県体育協会 社山形県接骨師会 山辺町 山辺町教育委員会 山辺町体育協会 山形新聞・山形放送 山形テレビ株 株テレビユー山形 株さくらんぼテレビ
4. 期日 平成22年6月27日(日) 午前9時30分開会 選手受付は午前8時より会場入り口で行う。
5. 会場 山辺町武道館(東村山郡山辺町緑が丘)
6. 参加資格 ☆全日本柔道連盟に登録しているものであり、指導者登録をしている監督が引率すること。
7. 試合方法 (1) 男子、女子児童に区分し、5年生・6年生の学年及び体重別の個人戦でトーナメント法とする。  
この大会は「第7回全国小学生学年別柔道大会」の選考会とするため、5年生女子は40kg級・40kg超級、5年生男子は45kg級・45kg超級、6年生女子は45kg級・45kg超級、6年生男子は50kg級・50kg超級として計量を行う。  
(2) 試合時間は3分とし、「有効」または「指導2」以上とし、得点差がない場合は、ゴールデンスコア(2分)により勝敗を決定する。  
(3) ゼッケンの着用  
柔道着にゼッケン(団名)を縫い付けて出場すること。  
布地は白色 サイズは概ね横30cm 縦20cm  
名字(姓)上 団名下 男子は黒色 女子は赤色  
縫い付けの場所は後ろ襟から約10cm下部とする。
8. 審判 国際柔道連盟試合審判規定及び国際柔道連盟試合審判規定「少年大会申し合わせ事項」による。
9. 表彰 (1) 各学年、クラスごとに優勝、準優勝、第3位(2名)  
(2) 参加者全員に参加賞を授与する。  
(3) 本大会において選手・監督はもとより応援者の態度等を総合して柔道ルネッサンス活動の模範となる2チームに対し、「柔道ルネッサンス賞」を授与する。
10. 申込み 申込書により大会事務局に郵送にて申込むこと。  
(大会事務局) 〒990-2461 山形市南館1-4-10  
小林 繁男 TEL・FAX (023) 644-6275  
☆締切り 平成22年5月20日(木) 午後4時必着  
申込み後の選手及び体重の変更は認めない。
11. 参加料 申込み時、選手1名につき500円を同封すること。
12. 組合わせ 大会主催者が行う。
13. 安全管理 ○選手にはスポーツ安全協会傷害保険に加入していること。  
○救護係として山形県接骨師会山形支部会員を配置して万が一の事故発生に備える。
14. 計量 大会当日午前8時30分～9時 会場に於て行う。
15. その他 ○審判・監督会議は8時50分より会場会議室で行う。  
○少年は大切な成長過程にあることを重視し、指導者の方は選手に無理な減量をさせないように厳に注意すること。  
○試合場には選手及び監督記章をつけた監督以外は入らないこと。監督の服装は正装とし作業衣やトレーナー等は禁止します。